

学校名 草加市立小山小学校
所在地 埼玉県草加市小山2-8-1
電話 048-941-1701

1 本校の概要

令和3年度に開校40周年を迎えた本校は、学級数14学級、児童数401名の中規模校である。学校教育目標は「進んで学ぶ子・思いやりのある子・体をきたえる子・ねばり強い子」とし、確かな学力の向上と健やかな心身の育成を目指している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書週間に係る取組

(2) 実践の概要

ア 読書タイム(毎週月・木曜日)

朝の時間(10分間)を朝読書の時間とし、学校全体で読書活動に取り組んでいる。また、いつでも読書ができるように、学校図書館からクラスの児童数分の本を借りて教室に配置している。

イ 草加市立中央図書館の活用(隔週金曜日)

各クラスが児童数分の本を借りて、教室に配置している。

ウ 読書すごろく(6月)

本を1冊借りる毎にサイコロを振り、出た目の数だけ進み、止まった目の本を借りる。普段読まないようなジャンルの本に触れ、読書の幅を広げることができた。ゴールすると、図書委員が作成したしおりをもらえることもあり、多くの児童が意欲的に参加した。



エ 読書スタンプラリー(10月)

読書週間に合わせ、1ヶ月間読書スタンプラリーを行った。本を借りてスタンプを集め、10個貯まったらオリジナルしおりを作成できることで、本を借りようとする意欲が向上した。



オ おすすめの本の紹介・ポップ作り

図書委員のおすすめの本の感想を掲示し、意欲付けを行った。ポップは、本棚に掲示し、児童の目線で紹介しているので、借りるときの参考になった。



カ 季節にあった「おすすめの本」の配置や掲示物

毎月、季節にあったおすすめの本コーナーを配置し、児童が学校図書館に通いたくなるような季節の掲示を行った。また、学校司書による参加型掲示(七夕の願い事・クリスマスツリー作成など)も人気で、それを目当てに学校図書館に来る児童も増えた。

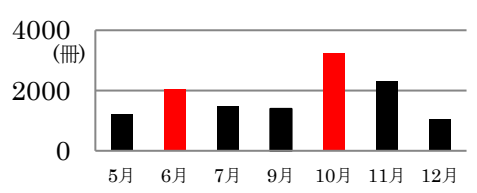


3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 学校図書館と中央図書館の本、約80冊が常に教室に設置してあり、2週間ごとに本を入れ替えることで、1年間で多くの本に触れることができた。

イ 図書イベントを行うことによって、児童が学校図書館に足を運ぶことが増えた。それによって貸出冊数も増え、児童の読書意欲の向上につながった。



(2) 課題

低学年の貸出が全校の50%をしめ、利用率は増加傾向だが、高学年の利用率が低く、高学年が興味をもてる蔵書を増やし、よりよい学校図書館にしていく必要がある。

(3) おわりに

今後も、児童が利用したくなる学校図書館の環境整備を行い、これまでの取組を継続しながら、児童にとって魅力のある学校図書館を目指し、読書意欲の向上に努めていきたい。